

時を超えて 受け継がれる交流の絆

～鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業～

宝暦治水を縁に始まった「鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業」。

宝暦治水260年に当たる今年、岐阜県から青少年19人が鹿児島県を訪問しました。両県の歴史的な関わりを学ぶとともに、お互いに友情や絆を深めた様子をご紹介します。

宝暦治水とは

江戸幕府に木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)の河川改修工事のお手伝い普請※を命じられた薩摩藩が、宝暦4(1754)年2月から翌年5月にかけて行った治水工事のことです。

薩摩藩では、家老の平田靱負が総奉行となって約1,000人の藩士が工事に当たりました。わずか1年3カ月という極めて短い期間で完成させたこの治水工事は、平田靱負をはじめ80人以上の死者を出し、多額の費用を費やすなど藩財政にも深刻な影響を与えました。

明治時代の三川分流工事が実施されたころ、地元を中心に顕彰活動が活発になり、大正、昭和に入ると鹿児島での顕彰も盛んとなります。

岐阜県では、この難工事を完成させた薩摩藩士たちを「薩摩義士」と敬い、現在でもその偉業はたたえられています。

※幕府が命じた工事のことで、名目はお手伝いとなっているが、実際は工事費用のほとんどを藩に負担させるものであった。

鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業の取り組み

鹿児島県と岐阜県の青少年が互いの県を訪問し、両県の歴史的関わり合いを認識しながら友情の絆を深めることなどを目的とした「鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業」は、昭和46年に両県が姉妹県盟約を結んだことをきっかけに、昭和47年度から実施しています。

鹿児島県からは岐阜県にある薩摩義士を祭った治水神社などを、岐阜県からは鹿児島市にある薩摩義士碑や平田公園などを訪れ、先人の偉業やその土地の素晴らしさに触れ、友好の絆を深めてきました。

これまでに「ふれあい事業」に参加した方々が中心となって、鹿児島県内に「鹿児島県『美濃の会』」、岐阜県内に「岐阜県さつまの会」がそれぞれ結成され、その後の交流も活発に行われています。

両会は、「ふれあい事業」に参加する青少年に対して心構えや行程を説明する事前研修、日程調整・視察場所の選定などの企画運営を行い、両県交流の橋渡し役も務めています。

島県では宝曆治水のことが岐阜県ほど広まっていないのでその広報活動に取り組むこともっと会員を増やしてOB同士の交流を深めていきたいと思っています。

今後の会の活動としては、鹿児島県では宝曆治水のことが岐阜県ほど広まっていないのでその広報活動に取り組むこともっと会員を増やしてOB同士の交流を深めていきたいと思っています。

平成22年度に同僚に誘われたのがふれあい事業に参加したきっかけです。下は中学生から上は30歳までの異年齢の集まりですが、すぐに仲良くなれましたね。私たちのグループ討論は、「絆」がテーマでしたが、大人は視野が狭くて考えが固く、かえって中学生の意見にすぐく考えさせられ、とても勉強になりました。



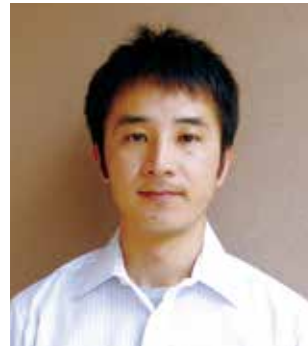
会長 吉永 美郷さん

鹿児島県「美濃の会」

毎年前研修や研修の出發に立ち会っていますが、その時にいつも話しているのは、「この活動には人生を変える出会いがある」ということです。一生を通して付き合える仲間ができるのです。

6年前に友人の誘いで第36・37回のふれあい事業に参加したのがきっかけでした。

岐阜県では小学生で宝曆治水について学びますが、多くの方が薩摩義士の顕彰活動に関わっていることをその時初めて知りました。また、両県の仲間との交流は、一生忘れることのできない人生の宝です。



会長 林 豪太さん

岐阜県さつまの会

平成26年度 ふれあい事業の活動紹介

7月25日(金)〜28日(月)の4日間、岐阜県から19人、鹿児島県から20人、合計39人が参加し、薩摩義士のゆかりの史跡を見学したり、グループ活動を行い、お互いの交流を深めました。



薩摩義士碑に献花後、先人に思いを込めて参拝しました。

岐阜県千本松原の子孫の松に、木曾三川から汲んできた水をかけました。(平田公園)



平田靱負像の前で県薩摩義士顕彰会の方からの講話をお聞きました。



みんなで協力して、昼食のピザ作り。おいしく出来ました。



「大人とはをテーマにグループで討議。出された意見をまとめて発表しました。」



さまざまな年齢の人たちと知り合うことができるので、とても楽しみにしていました。これからも交流をしていきたいですね。

学校やふれあい事業の事前研修で、宝曆治水について勉強はしていましたが、今回、顕彰会の方の講話や史跡見学でさらに深く学ぶことができました。



岐阜県「こた」さん



鹿児島県「もっち」さん

問い合わせ先

県庁青少年男女共同参画課 ☎099 (286) 2557